

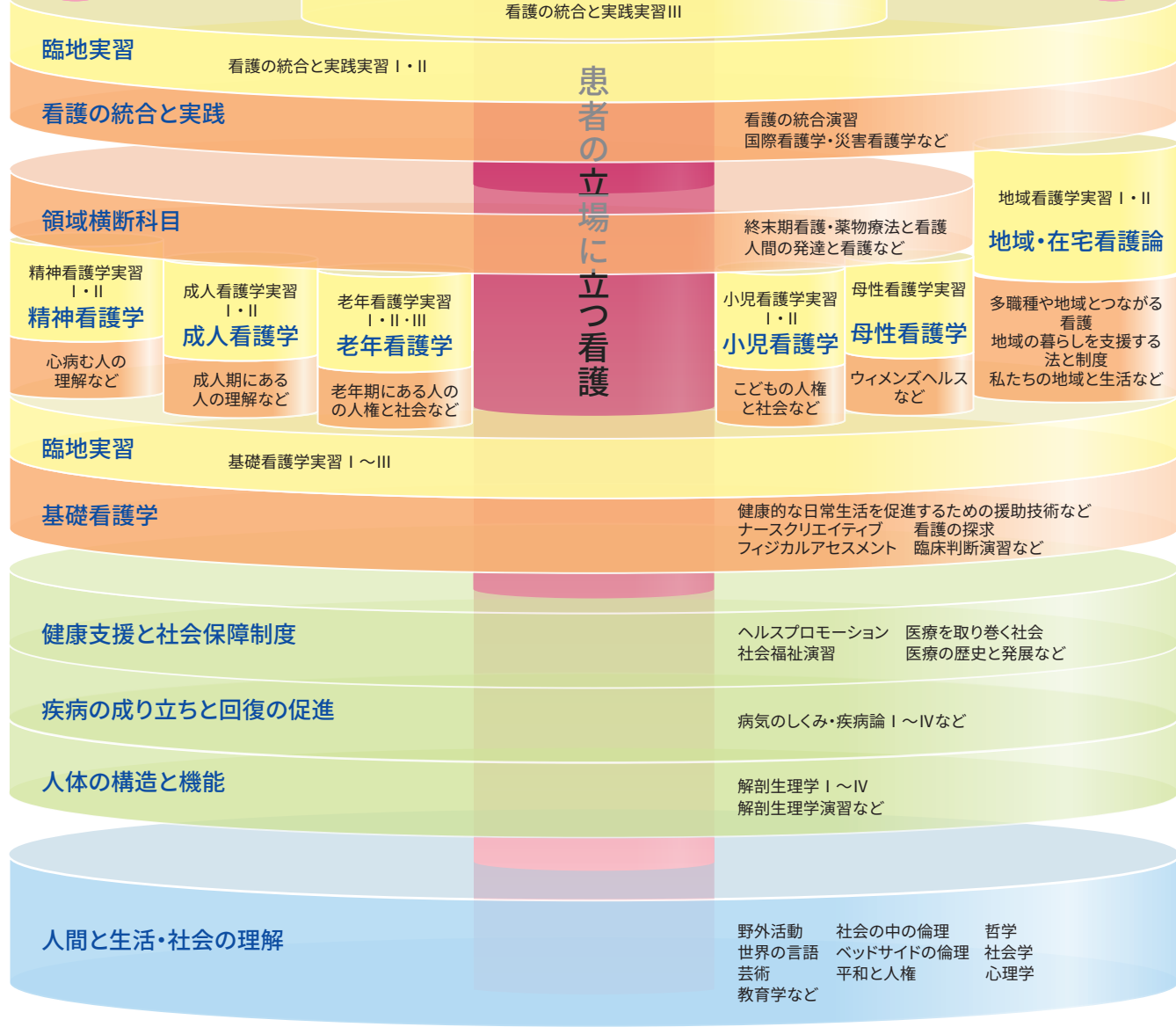
卒業までにつける7つの力



専門分野

専門基礎分野

基礎分野



専門分野

基礎看護学は、各領域の看護実践を支える共通の概念（人間・健康・社会・生活と労働）に基づいた看護を学び、自己の看護観の構築を目指す。また、科学的根拠に基づいた看護技術を身につけ、臨床判断の思考を経験しながら看護を探究し実践的に学ぶ。各領域の看護学では、人間のライフサイクルや各発達段階について学ぶ。対象を取り巻く社会と健康問題を関連させ、対象を生活者として理解する力を培う。各領域では当事者授業やフィールドワーク、演習等で主体的に学ぶことを目指している。更に看護の対象を人権擁護の視点で理解していく。地域・在宅看護論では、地域で暮らす人々の理解とプライマリヘルスケアの視点、多様な健康要求に応える看護と多職種連携について学ぶ。領域横断科目は各領域に共通する看護を学ぶ。看護の統合と実践では、災害看護を臨地で実践的に学ぶ。国際看護では地域の在日外国人の生活を知り、国際看護を身近に学ぶとともに、国際看護活動の実際に触れ理解を深める。

臨地実習

授業や演習で学んだ知識や技術を統合し、科学的根拠を踏まえた個別的な看護を実践する。また、事例を生活と労働の視点を踏まえて理解し、さらに、事例の要求から出発し願いを実現するための看護を病院及び福祉施設、地域等の多様な場で学ぶ。看護の統合と実践実習Ⅲは、3年間の集大成となる実習として位置づけ、チームや他職種と協力・連携を図りながら、「患者の立場に立ち、患者の要求に応えるための看護」を実践することを目指す。

専門基礎分野

人間の人体の構造と機能を系統的に理解し、疾病や障害の成り立ちと関連させ探究心を持ちながら学ぶ。対象を取り巻く社会に広く目を向け、健康の社会的決定要因の視点から対象理解を深める。誰もが健康に生きる権利を有し、その権利を守るために様々な社会保障制度について学習し、関連機関および他職種と連携・協同していくための看護師の役割について学ぶ。

基礎分野

人間について理解する土台となる部分である。人間理解の視野を広げ、人間を人格のある存在として尊重することを学ぶ。また科学的なものの方・考え方を様々な学問から学ぶ。人権の根幹となる日本国憲法を学びまた、異文化・様々な体験を通して人格の成長・発達をめざす。